

平成30年度 後期 学校評価報告

平成31年2月

京都市立高野中学校 校長 西田 育世

後期学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。以下に、生徒と保護者の集計結果を掲載します。各アンケート項目では、実現度を「よく出来ている（7点）」「大体出来ている（5点）」「あまり出来ていない（3点）」「出来ていない（1点）」「わからない（0点）」から選択していただきました。また、今回の集計では、「よく出来ている」と「大体出来ている」の実現度を比較しました。

前期との比較では、全てのアンケート項目において、生徒、保護者ともに前期の実現度を上回っていました。高野中学校では、引き続き「1.規律ある生活習慣とルールを守る態度の育成」に重点を置き、成果が出るよう取組を進めていきます。一方、確かな学力を伸ばすために、「3.基礎学力の定着を図る補充学習」「6.学習確認プログラムの活用」「7.グループ学習（学び合い）と言語活動（伝え合い）の充実」「8.キャリア教育」「11.人権尊重」「12.道徳教育の充実」についても継続して取り組んでまいります。また、「4.家庭学習の充実」「9.学習・情報センターとしての図書室活用」についても、改善を重ねながら取り組んでまいります。

今回の学校評価アンケート結果を、今後の学校改善に活かしていきたいと思いますので、ご理解、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

生徒と保護者の実現度（今年度前期との比較）

質問	生徒		保護者	
	30前期	30後期	30前期	30後期
1.規律ある生活習慣とルールを守る態度の育成（時間を守る身だしなみ）	5.0	5.2	4.5	5.1
2.あいさつの徹底	5.3	5.7	4.3	4.9
3.学習基本となる姿勢や習慣づくり	4.8	5.0	3.9	4.3
4.家庭学習の充実	4.5	4.7	3.8	4.1
5.基礎の定着を図る補充学習（ベーシック学習と学習会、土曜自習教室）	4.9	5.1	3.8	4.3
6.学習確認プログラムの活用（予習シートと復習シートの活用など）	5.0	5.3	3.8	4.1
7.グループ学習（学び合い）の活用と言語活動（伝え合い）の充実	5.3	5.5	3.6	3.9
8.キャリア教育の充実（ファイナンスパーク学習、チャレンジ体験、進路学習など）	4.9	5.1	4.2	4.7
9.学習・情報センターとしての図書室活用	4.3	4.5	3.0	3.3
10.支え合い、高め合える集団づくり（学級、生徒会、部活動）	5.2	5.5	4.7	5.0
11.人権を尊重し、社会にある課題を見抜き、実践する態度を育成する	4.9	5.1	3.6	3.9
12.道徳の時間を中心豊かな心を育み、実践する態度を育成する	5.1	5.4	3.8	4.1
13.学校だより、学年だより、学級通信やHPで学校の様子を伝える	4.9	5.2	5.2	5.6
14.学校運営協議会を活用し、学校と地域が一体となった学校づくり	4.3	4.6	3.8	4.1
15.学校評価システムを活用し、学校改善に取り組む	4.4	4.7	3.6	3.9